平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	後期高齢者医療保険料徴収経費	担当課	国保年金課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	社会保障の健全運営	種別	法定事務
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営	市民協働	
予算科目コード	09-010201-01 単独	根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>老人保健制度に代わる制度として、平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され、後期高齢者医療保険料徴収業務を市町村が行うこととなった。</p>	<p>被保険者へ納付書等の送付、収納管理及び徴収等を行う。徴収は、納付書等での納付となる普通徴収（7月から翌年2月までの8期）と年金天引きとなる特別徴収（4月、6月、8月、10月、12月、2月の6期）の2通りの支払方法により徴収する。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>後期高齢者医療保険財政の財源を確保する。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p>☐増加</p> <p>☐維持</p> <p>☐削減</p>	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
現在の収納率を維持するために、引き続き滞納整理等の収納対策を実施していく	現在の収納率を維持するために、現年度未納者へは督促状の発布から1～2箇月以内に電話催告を行い、電話が繋がらない場合は催告書送付及び訪問を行った。 また現年度の未納を防ぐために、口座振替手続について窓口のご案内や、保険証発送時に納入通知書送付時に案内文を同封するなどして、積極的な勧奨を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
後期高齢者医療保険料の現年度収納率	99.68	99.71	99.83	99.83	99.83
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	収納率は100%に近い状況であり、成果向上は難しい。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☒ 維持 ☐ 廃止・終了	保険料の徴収のための最低限の費用であり、成果指標となる収納率も100%に近い状況のため、現状維持とする。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	3,369	3,486	3,330	3,453	3,453
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,369	3,486	3,330	3,453	3,453
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,222.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	5,010	0	0
トータルコスト		3,369	3,486	8,340	3,453	3,453